

先行事例

1. 公共施設

・大和市 文化創造拠点シリオス

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設。文化芸術や社会教育・生涯学習活動などを包含した大和市の文化の創造・発信により一層力を入れるための施設として位置づけ、コンセプトを「市民の居場所」及び「全館“図書館”」に設定した。フロアごとのテーマにあわせた図書の配架や施設の配置をしている。(https://yamato-bunka.jp/)

・さいたま市 プラザノース

ホール、市民交流施設(各種アトリエ・多目的ルーム・セミナールームなど)、ギャラリー、区役所、図書館を複合した施設であり、4つの棟が建物中央部のオープンスペースを通じてつながっている。

(http://www.plazanorth.jp/)

2. 公園

・板橋区 平和公園・板橋区立中央図書館

中央図書館を公園内に整備し、カフェや屋外テラスを設置することで、公園の広場や外周園路などと一体化した快適な空間を演出している。

平和公園 <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kouen/kouen/1006619.html>

板橋区立中央図書館 <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/toshokan/2000494/index.html>

・町田市 町田薬師池公園四季彩の杜

複数の公園等で成る町田薬師池公園四季彩の杜の核として、複合施設を含むウェルカムゲートを整備し、指定管理者制度による管理運営を行っている。(https://machida-shikisainomori.com/)

・福岡市 警固公園

周囲からの見通しが悪く、多くの死角が存在し、犯罪の防止と迷惑行為の抑制が急務の課題となっていたが、デザインコンセプトを「防犯と景観の両立」として、公園を整備し、見通しと動線を確保することで防犯効果が向上するとともに、周囲の景観を公園の魅力として重視し、逆に周囲からは園内の様子や来園者の活動、休憩する姿を十分かつ魅力的に眺められるデザインとなっている。(https://yokanavi.com/spot/26833/)

3. まちづくり

・岩手県紫波町 オガールプロジェクト

都市と農村の暮らしを「愉しみ」、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場にすることを理念として、町有地を活用し、公民連携手法を用いながら、財政負担を最小限に抑え、公共施設整備(地域交流センターや図書館等)と民間施設等立地(飲食店や医療機関等)による経済開発を進めている。「オガールエリア・デザインガイドライン」を定め、人と環境に優しい統一感のある景観で、住みよいまちを目指している。(https://ogal.info/)

・相模原市 豊町あかつき公園

南文化センターが平成13年度末に廃止となり、跡地を豊町あかつき公園等として活用している。

・町田市 町田シバヒロ

町田市役所本庁舎跡地に整備された芝生広場であり、スポーツイベントをはじめ、フリーマーケットやワークショップなどの多彩な催しに対応できる設備が整えられている。散歩やサークル活動等、誰でも無料で利用できるほか、有料で芝生広場の全部又は一部を占有利用することもできる。

(https://machida-shibahiro.jp/)



先行事例を参考にして、
みんなで考えてみよう！